



# カメラ だより

赤ちゃんサロンに参加した皆さん



## 夏といえば、これだ！

JA産直センター刈谷北部(6月16日)



約1,000個の採れたての小玉スイカが対面販売されたすいか朝市。開始時間前には300人以上が長蛇の列を作っていました。黄色やオレンジなどカラフルなスイカを試食した子どもたちは「甘くておいしい」と満面の笑み。トラックの荷台にたくさん並べられたスイカも、開始から1時間ほどでほとんど完売し、家族でいくつも抱えて持ち帰る姿が見られました。

## 立ち直りを支える地域のチカラ

刈谷ハイウェイオアシス、刈谷駅前(7月3日)



刈谷ハイウェイオアシス、刈谷駅前で行われた社会を明るくする運動。犯罪などをした人たちの立ち直りについて考え、犯罪などが起きない社会を作ることが目的の運動です。参加したのは保護司、更生保護女性会員、協力雇用主など約100人。「社会を明るくする運動をしています」と声をかけながら啓発物品を配り、人々の理解を深める活動を行いました。

## 輪になって踊ろう

ウイングアリーナ刈谷(7月6日)



8月から市内各地で始まる盆踊り大会を目前に、市民盆おどり講習会が開催されました。日本民謡研究会の山本豊智氏を講師に迎え、各地区の婦人会など約450人が集まり、「刈谷小唄」など9曲を踊りました。新曲である「ビューティフル・サンデー」や音頭「おどりの輪」には振り付けに戸惑っていた人も。しかし、最後には振り付けを覚え、みんなで息を合わせて笑顔で楽しんでいました。

## 伝統を学び、つなげる

郷土資料館(7月9日～12日)



4日間にわたって開催された「はた織り体験講座」。普段体験できない経糸の準備から始めて、機織り機を使ってテーブルセンターを織りました。慣れない道具に最初は苦戦していた皆さんも、作業をしていくうちにコツをつかんできた様子でした。

ここで指導している先生は、この講座の卒業生。伝統文化を学び、理解を深め、今度は教える立場で次の人へつないでいました。